

座間市アーティストファイルの作家達による作品展

座間・アートは今

第10回記念作品集

目 次

相笠 昌義	1
大塚 末男	3
大塚 正子	5
大矢 雅章	7
岡本 直枝	9
工藤 恒子	11
久保寺志乃	13
栗原 幸男	15
小山 透	17
佐藤千恵子	19
佐藤 菜緒	21
佐波古直明	23
澤口 脩江	25
鈴木 啓司	27
橘 良子	29
手塚 精三	31
中川 宇妻	33
濱 實	35
深谷 桂子	37
福田 知江	39
穂積 千幸	41
松原 正俊	43
松本 公夫	45
宮本和千代	47
矢部多恵子	49
山本 修子	51
横山 博昭	53
吉越 敦子	55
吉野 光治	57
依田 節子	59
宇津木游心	61
清水 擴	62
横井山 泰	63

相笠 昌義

あいがさ まさよし
ジャンル 版画・洋画



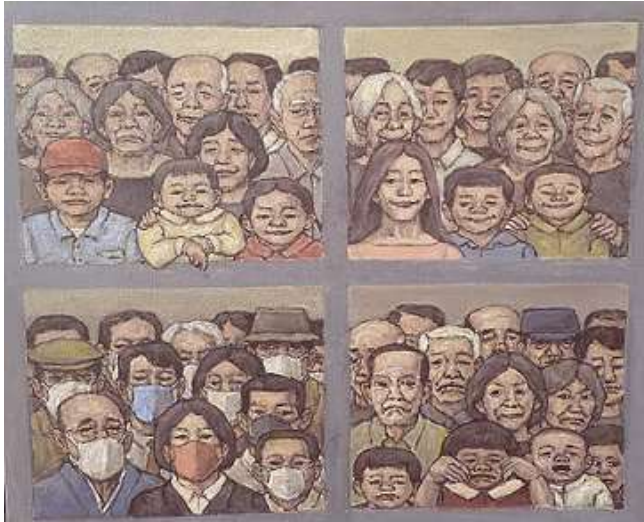
経歴

- 1939年 東京日本橋生まれ
- 1962年 東京藝術大学油絵科 小磯良平教室卒業
- 1971年 第15回シェル賞展にて三等賞を受賞
- 1974年 第11回日本国際ビエンナーレに招待出品
- 1979年 第29回芸術選奨文部大臣新人賞を受賞
- 1982年 文化庁芸術家在外研修員として1年間スペインへ留学
- 1987年 第25回安井賞を受賞
- 1988年 相笠昌義・その世界展 池田20世紀美術館
- 2004年 相笠昌義・版画・油彩・素描展 町田市立国際版画美術館主催
- 2005年 収蔵品展・相笠昌義・日常生活展 東京オペラシティアートギャラリー主催
- 2009年 日常生活・相笠昌義の世界展 茨城県つくば美術館主催
- 2010年 相笠昌義・日常生活展 損保ジャパン東郷青児美術館主催 読売新聞社後援
座間市市政功労者一般表彰
- 2015年 目黒区美術館 コレクション展
- 2016年 「ガラス絵 幻惑の200年史」府中市美術館
- 2018年 収蔵品展・相笠昌義展東京オペラシティアートギャラリー
- 2019年 「動物がいっぱい アニマル アート」展
- 2020年 「鎌倉美術館 コレクション」展

パブリックコレクション 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館 大阪国立国際美術館
栃木県立美術館 東京都現代美術館 神奈川県立近代美術館 町田市立国際版画美術館 新潟市美術館
茨城県近代美術館 宮崎県立美術館 目黒区美術館 福岡市美術館 佐久市立美術館 刈谷市美術館
浜松市美術館 多摩美術大学 早稲田大学 東京オペラシティアートギャラリー 東京ステーションギャラリー 損保ジャパン統合青児美術館 他

備考

- 2010年 芸術文化セミナー「ざまに生きる版画家たち」出品
- 2011年～2013年、2015年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2014年 芸術文化セミナー「相笠昌義 デッサン・昆虫コレクション」開催
- 2019年 芸術文化セミナー「相笠昌義 時の過ぎゆくままに」開催
座間市に作品寄贈（市長室に展示）



タイトル

2020年・喜怒哀楽図

作者名

相笠 昌義

ジャンル

キャンバス・油彩

制作年

2020年

寸法（号数）

72.7×60.6cm

テーマ

人生の喜怒哀楽をテーマに制作した。

作品について

今、全世界にコロナウイルスが広がり、数多くの死者が出ている。地球を人類のみの星と思い込んでいる人も多い。

この作品は、人々の顔のみを組み合わせ、喜怒哀楽の表情を表現したものである。

大塚 末男

おおつか すえお
ジャンル 洋画

経歴

- 1952年 神奈川県座間市生まれ
- 1975年～ 座間市立青少年センターで、10年以上に渡り、
故田賀亮三先生（自由美術協会）に師事
- 1990年 第41回神奈川県勤労者美術展、横須賀市長賞
- 2012年 油絵二人展（夫婦展）開催・ギャラリーアニータ
- 2013年 第3回座間市アーティストファイル出品 以降毎年
- 2014年 中央美術協会神奈川支部展奨励賞
- 2016年 中央美術協会神奈川支部展奨励賞
- 2016年 三人展開催 ギャラリーみらい
- 2018年 第70回中央美術協会展 会友努力賞 準会員推挙

備考

- 2013年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2021年 芸術文化セミナー「夫婦で同じ趣味展～或る二組の夫婦の場合～」開催



タイトル

かにかが沢風景

作者名

大塚 末男

制作年

2018年

寸法（号数）

148×148cm

テーマ

風景

作品について

かにかが沢の建物風景を描きました。

大塚 正子

おおつか まさこ

ジャンル 洋画

経歴

- 1949年 東京都品川区生まれ
- 1995年～ 油絵教室参加 東地区センター
- 2012年 油絵二人展（夫婦展）開催・ギャラリーアニータ
- 2013年～ 第3回座間市アーティストファイル出品 以降毎年
- 2014年 中央美術協会展出品
- 2016年 三人展開催 ギャラリーみらい
- 2018年 中央美術協会神奈川支部展・神奈川新聞社賞
- 2019年 第71回中央美術協会展・準会員推挙

備考

- 2013年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2021年 芸術文化セミナー「夫婦で同じ趣味展～或る二組の夫婦の場合～」開催



タイトル

工場夕景

作者名

大塚 正子

制作年

2020年

寸法（号数）

130×162cm

テーマ

風景

作品について

珍しい形の煙突と工場の建物が印象的でした。昔なつかしい建物のなかで、働く人々を夕方の光のなかに表現してみたくなり、描きました。

※場所 小松原近郊

大矢 雅章

おおや まさあき

ジャンル 版画



経歴

- 1972年 神奈川県座間市生まれ
- 1998年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了
深沢幸雄・森野真弓・渡辺達正氏より銅版画を学ぶ
- 1999年 第69回版画展 版画協会賞受賞 於：東京都美術館
- 2002年 大矢雅章版画展 養清堂画廊
- 2002年～2003年 文化庁新進芸術家インターンシップ研修員制度により加納光於氏に師事
国際ロータリークラブ第2780地区よりG.S.E研究交換派遣メンバー
としてサンパウロに派遣される
- 2008年 13th International Biennial Print Exhibition.R.O.C (Silver CCA Award 受賞)
- 2009年 IX Graphic Art Biennial DRY POINT Uzice 2009 SERBIA
(Gold Point Award 受賞)
- 2008年～2009年 文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員としてパリ滞在
- 2016年 多摩美術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士号取得
- 2017年 The 4th International Small Etching Biennial Graphium Timișoara 2017 [Grand Prize] / Romania

現在、社団法人美術家連盟会員・日本版画協会会員・
版画学会会員、多摩美術大学准教授

パブリックコレクション 町田市立国際版画美術館 左喜眞美術館 浜松市美術館
多摩美術大学美術館 国立美術館 台湾 The Tikotin Museum of Japanese Art ISRAEL 他

備考

- 2010年 芸術文化セミナー「ざまに生きる版画家たち」出品
- 2011年、2012年、2014年、2017年、2019年、2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

The Days View-Life force series

19-XVII

作者名

大矢 雅章

ジャンル

銅版画 エッチング

制作年

2019年

寸法（号数）

65×55cm

作品について

ここ最近、庭に咲いている身近な草花の変化に生々流転を見えています。小さな庭には、沢山の草花が競うように咲き、そして散っていきます。その景色は決して留まることがなく、常に変化しています。それぞれの植物の持つ形や生の力の息吹、その全ては、魅力的であり、その先にある生命の神秘を考える糸口になっています。今回は、庭に咲く草花をモチーフの源泉として、自らのテーマである生命の生々流転を探求しています。

岡本 直枝

おかもと なおえ

ジャンル テキスタイル (フェルト、織など 立体・平面)



経歴

17年余、日産自動車(株)でデザイン業務に従事した後、2000年武蔵野美術大学大学院入学、テキスタイルを学び、同校修了。現在、女子美術大学非常勤講師。

共生する場の力をテーマに、最近では植物パワーを可視化する平面・立体作品を、様々な繊維素材を使ってテキスタイルの技法で制作、発表している。

個展 2005年、2006年、2007年、2008年、2011年、2013年、
2014年、2015年、2016年、2018年、2019年

巷房／銀座、KANEKO ART TOKYO／神田、千疋屋ギャラリー／京橋、猫亀屋／大阪、等

2004年	The World Meeting of Felt Art／ハンガリー入選
2005年～	JTC 展／福岡アジア美術館、網走美術館、奄美田中一村記念美術館、等
2005年～	かたちの会展／横浜赤レンガ倉庫、平塚美術館
2006年	『テキスタイルー表現と技法ー』 共著 武蔵野美術大学出版局
2007年	Fiber As Art 展 Silk Road Project／東京～シルクロード巡回
2011年	The Nature of spirit／スペイン
2010年～	ミニアチュール展／青山5610、金沢21世紀美術館、 ソウルサンミョン大学ギャラリー等
2012年	MINIARTEXTIL COMO／イタリア、フランス Antonio Ratti 賞受賞
2013年	Fiberart International /アメリカ Best in Show 賞受賞
2017年～	NAU 展／国立新美術館
2017年、2018年	日豪国際彫刻交流展／オーストラリア、福岡
2019年	巡礼展／スペイン
2019年	MINIARTEXTIL COMO／イタリア、フランス 招待展示

備考

2015年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

とぶもの IV

作者名

岡本 直枝

ジャンル

タペストリー・テキスタイル

制作年

2019年

寸法（号数）

60×60cm

テーマ

植物のすがた

作品について

秋、木の葉は風に乗って森を、谷を、村を、街を飛び回ります。それは初飛行！本来の色も形も失い、不思議なシミ模様も帯びて。けれどその動きは機敏。宙では何を見ているのでしょうか。やがて地面に降り、日を浴び、雨を含み、新しい命の宿となります。様々な糸を作り、染めて、織ったりフェルティングしたりして制作しています。

工藤 恒子

くどう つねこ

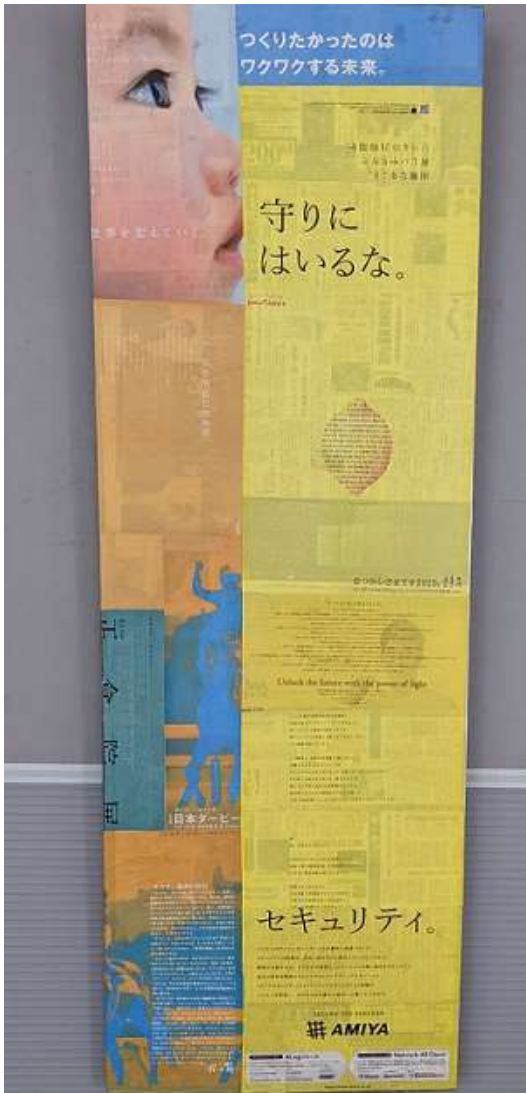
ジャンル コラージュ

経歴

1962年	女子美術大学図案科グラフィックデザイン卒業
1975年	東京都大田区にてブティックアニータを開業（1980年閉店）
1978年	座間市入谷にてブティックアニータを開業
2007年	ギャラリーアニータを開業（ブティックアニータ閉店）
2009年～2011年	大和展に出品
2011年	初個展（ギャラリーアニータ）

備考

2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

希望

作者名

工藤 恒子

制作年

2020年

寸法（号数）

180×130×90cm

作品について

何年もマグマを表現して来たが、今の現実を見つめて今回から希望に変更した。

久保寺 志乃

くぼでら しの

ジャンル フランス伝統工芸カルトナージュ

・インテリア茶箱



経歴

1992年4月 日産自動車（株）設計管理部設計監理課 入社

1995年4月 日産自動車（株）商品企画室へ異動

2011年3月末 日産自動車（株）退職

備考

資格

- ・ビジャー香代子「アトリエ カルトナージュ」特任講師
- ・インテリア茶箱クラブ認定インストラクター
- ・日本ヴォーグ社『フレンチデコ』、『フレンチ メゾン デコール』ディプロマ取得
- ・デコールクラシックによるエフィールパスマントリーディプロマ取得
- ・セラフィオーレグループ認定講師
- ・JGBA グルーバッグ『アルミばねロバッグ』、『ダブルポケットート』、『シリンダーバッグ』ディプロマ取得
- ・TC カラーセラピー トレーナー
- ・吉野和代「嘉のひととき」 マヤンカレンダーアドバイザー
- ・英国王立美術家協会（RBA）名誉会員（2019年～）
- ・2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

20歳への懐古

作者名

久保寺 志乃

ジャンル

インテリア茶箱&カルトナーージュ

制作年

2019年

寸法 (号数)

52×37.5×35cm

作品について

静岡県の茶箱職人により作られた昔ながらの茶箱をベースに、亡き祖母に購入してもらった成人式の帯を使用し制作。

収納は勿論、茶箱本来の防虫・防湿効果にも優れ、実際に座ることも可能。内側は見栄えを重視し、トタンにクロスを貼り、使いやすいようにカルトナーージュで2段重ねの箱を制作。

祖母との思い出が詰まった作品に仕上げています。

栗原 幸男

くりはら ゆきお

ジャンル 洋画



経歴

- 1940年 埼玉県飯能市生まれ 1969年より座間市ひばりが丘に在住
- 2000年 定年退職を機に絵画サークル「よつば会」で油彩・水彩を、
東京大崎の幻羊塾でクロッキー等を学ぶ
- 2004年 大和市展・市長賞
- 2005年～ 大和市美術協会展に毎年出品 佳作賞等
- 2005年 初個展（大和・画廊喫茶オルセー）
- 2006年 二回目の個展（六本木・ミューゼふうあんぬ）
- 2007年 太陽美術展（上野）会友優賞
- 2008年 三回目の個展（座間 ギャラリー・アニータ）
- 2013年 四回目の個展（大和・スカイギャラリー）
- 2017年 五回目の個展（喜寿記念 大和・スカイギャラリー）

日本美術家連盟会員 大和美術協会会員

備考

- 2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2021年 芸術文化セミナー「水彩画3人展～水彩画ができるまで～」

1.



2.



タイトル

1. 教会の庭 (ドイツ)

2. 雲中昇り龍 (墨彩画を模写)

作者名

栗原 幸男

ジャンル

1. 油彩

2. アクリル

寸法 (号数)

1. F10号

2. F10号

テーマ

コロナよ早く去れ!

作品について

1. コロナ禍が早く終息できれば、ドイツ他海外へ旅行に行きたい!
2. コロナ菌を強い龍が退治してほしい! という願望を込めて出品しました。

小山 透

こやま とおる

ジャンル 立体ジグソーパズル



経歴

1952 年生まれ

1977 年 千葉大学工学部工業意匠学科卒業

1977 年～ (株)富士通ゼネラル商品デザイン部長、事業部長等歴任

1980 年 毎日国際デザインコンペ課題賞受賞

1986 年 東急ハンズ大賞準ハンズ大賞受賞

1989 年 KAI 世界ハサミデザインコンペ審査員特別賞受賞

2012 年 座間市陶芸クラブ「土有楽」へ入会

座間アーティストファイル登録—座間アート展参加 以降毎年参加

2014 年 有田陶ひなコンテスト三位（佳作）受賞

神奈川県美術展 工芸部門入選

2015 年 全陶展入選

2016 年 神奈川県美術展 工芸部門入選

座間ギャラリー「未来」で三人展

2017 年 カフェギャラリーR2 主催の 25 人作家展

座間神社「杜のアート展」に出品 以降毎年参加

陶芸財団展入選

全陶展入選

2018 年 全陶展神奈川支部展入選

新宿常円寺東北復興支援展

NPO 団体「愛川芸術就継B 미래のあいの家設立準備室」（愛川町）結成

2019 年 相模原市カフェギャラリーR2 二人展

交通会館ギャラリー波留 グループ展

市ヶ谷一口坂ギャラリー グループ展

赤坂ギャラリー小川 グループ展

2020 年 NPO 団体「アートステージ」（座間市）結成

備考

2012 年～2020 年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

未来への情景

作者名

小山 透

ジャンル

陶芸

制作年

2020年

寸法（号数）

30×110×40cm

作品について

年が明けて、騒がしかった過去（獅子舞）は過ぎ去り、やがて明るい未来（春）が訪れ、その中で遊ぶ天使のような子供たち。その邪心のない心に不死の象徴であるペガサスがそっと見守る。そんな明るい未来の情景をイメージして作りました。

佐藤 千恵子

さとう ちえこ

ジャンル 版画



経歴

女子美術大学絵画科洋画専攻卒業

座間にて20年に渡り、森の子供たち造形教室を主催し美術指導に携わる

2003年より毎年 International mini print exhibition (スペイン) に出品

2003年より毎年春陽展入選

2004年 タイ、日本交流展出品

2004年 小野画廊 (銀座) にて個展

2005年 ぶなの木 (名古屋) にて個展

2007年 ギャラリー アニータ (座間) にて個展

2008年 スウェーデン、日本交流展出品 (京都市美術館大陳列室)

2011年 日韓交流展出品 (ソウル)

2013年 ギャラリー社 (座間) にて個展

2017年 ギャラリー檜 (銀座) にて個展

2018年 日本版画協会展入選

2019年 日本版画協会展入選

2019年 南島原市セミナリヨ現代版画展入選

春陽会 会友

備考

2010年 芸術文化セミナー「ざまに生きる版画家たち」出品

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

Connection 白い花 2020

作者名

佐藤 千恵子

ジャンル

版画 リトグラフ

制作年

2020年

寸法 (号数)

90×70cm

テーマ

自然

作品について

宇宙の中の水の惑星、地球、白い花を通じて、その美しさの一部を表現しようと試みています。

佐藤 菜緒

さとう なお
ジャンル 木彫

経歴

1984年 神奈川県生まれ
2007年 女子美術大学 芸術学部 立体アート学科 卒業
現在 女子美術大学 非常勤講師

個展

2009年 佐藤 菜緒展 -at home- ギャラリー・アニータ (神奈川)
2013年 佐藤 菜緒展 -Animal Friends- ギャラリー華 (広尾)
2014年 佐藤 菜緒展 -sympathy- FUMA CONTEMPORARY TOKYO (八丁堀)

主な展示

2009年 彫刻の五・七・五 美術系大学交流展 (沖縄県立芸術大学)
2010年 5 works (銀座 gallery 女子美)
2010年 彫刻の五・七・五 国際芸術大学交流展 (台湾)
2013年 座間・アートの今 (ハーモニーホール座間) 以降毎年出品
2014年 おもしろ木かたち展 (横浜高島屋7階 美術画廊)
2014年 アニマルマニア展 FEI ART MUSEUM YOKOHAMA (横浜)
2014年 彫刻アニマルパーク (日本橋三越本館6階アートスクエア)
2015年 Young Art Taipei Sheraton Grande Taipei (台湾)
2015年 時のかたち展 (横浜市民ギャラリー/横浜赤レンガ倉庫) 以降毎年出品
2015年 彫刻アニマルパーク (日本橋三越本館6階アートスクエア)
2015年 干支彫刻による Happy New Year 展 (日本橋三越本館6階アートスクエア) 以降毎年出品
2016年 Young Art Taipei Sheraton Grande Taipei (台湾)
2016年 「-百花繚乱- 百人のバラ展」 (銀座三越7階ギャラリー)
2016年 MITSUKOSHI ART CUBE (日本橋三越本店 新館7階催物会場)
2017年 彫刻アニマルパーク (日本橋三越本館6階アートスクエア)
2017年 彫刻の五・七・五 Haiku-Sculpture 2017 (女子美アートミュージアム)
2019年 彫刻アニマルパーク (日本橋三越本館6階アートスクエア)
2020年 やさしい木彫展 (日本橋三越本館6階アートスクエア)

備考

2013年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

丑 2021

作者名

佐藤 菜緒

制作年

2020年

寸法 (号数)

25×25×25 cm

テーマ

2021年の干支

作品について

木彫作品を制作しています。今年の干支である丑を表現しました。
穏やかな1年になりますようにという気持ちを込めています。

佐波古 直明

さはこ なおあき

ジャンル 染色



経歴

- 1968年 神奈川県生まれ
- 1990年 東京染色美術学院卒業 日本工芸会正会員 坂井教人氏に師事
- 1998年 東京都工芸染色協同組合より技術証明書を授与
- 1999年 第39回 伝統工芸新作展『入選』
- 2003年 染芸展 『東京都知事賞』 『伊勢丹賞』
座間市教育委員会主催 『平成14年度 奨励美術展』(個展)開催
- 2007年 経済産業大臣指定伝統工芸品 東京手描友禅(総合部門) 伝統工芸士に認定登録される
- 2009年 日仏交流 第七回 パリ・『世界の子供の日』のポスターに採用、展示
- 2013年 染芸展『東京都立産業技術研究センター理事長賞』
座間市・須賀川市国内友好都市協定締結の記念品に採用
- 2015年 座間市・大仙市国内友好都市協定締結の記念品に採用
- 2017年 座間市教育委員会主催「佐波古直明 手描友禅 作品展」(個展)開催
- 2018年 一般社団法人イマジン・ワンワールド KIMONO PROJECTにて
「フィンランド振袖」作成
- 2019年 染芸展「東京都知事賞」「高島屋賞」

備考

- 2014年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2016年 芸術文化セミナー「佐波古直明 手描友禅作品展」開催
座間市に作品寄贈(市民サロンに展示)



タイトル

訪問着 高野槇

作者名

佐波古 直明

ジャンル

染色・友禅染

制作年

2020年

寸法（号数）

165×165cm

作品について

友禅染の技法で染色した訪問着。

高野槇（こうやまき）の柄。墨色の地色に大小あられの染色技法を用いた。

澤口 脩江

さわぐち のぶえ

ジャンル 洋画



経歴

京都生まれ

1984年～1996年 神奈川女流展

1998年～2000年 難波田龍起先生 青起会展（銀座）

2001年～2015年 女流画家協会展

2001年～2003年 春陽展

2005年～2016年 モダンアート展

2006年 抽象への挑戦（座間ハーモニーホール）

その他 個展、企画展多数（銀座、神田、九段下、座間、中央林間、大和、鶴間）

モダンアート准会員

女流画家協会 会友

備考

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

作品

作者名

澤口 脩江

ジャンル

スペースアート

制作年

2020年

寸法（号数）

120×100cm

作品について

心あたためていた思いが、作品となりました。

鈴木 啓司

すずき ひろし

ジャンル 水彩



経歴

1941年	東京都大田区生まれ
1964年	明治大学卒業 明大美術研究会OB会員
1975年～	座間市在住
2001年～2018年	60歳を機に、相模川とその周辺を水彩画で描くことに専念する 地元コミセン祭、北文祭、市民芸術祭に出品
2003年	オルセー会に加入、同グループ展に出品を続ける
2003年～2010年	さがみ美術展出品
2008年	「相模川を描く2人展」画廊オルセー
2010年～2015年	オダサガ美術展出品 オダサガプラザ
2017年	「鈴木啓司水彩画展」画廊オルセー
2020年	「5人の絵画展」画廊オルセー

備考

毎年（ここ10年）	市民芸術祭に出品
2012年～2020年	芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
2021年	芸術文化セミナー「水彩画3人展～水彩画ができるまで～」



タイトル

八ヶ岳風景

作者名

鈴木 啓司

ジャンル

水彩画

制作年

2019年

寸法 (号数)

50.0×65.3cm

(P15号)

テーマ

八ヶ岳の雄大な風景美

作品について

JR小海線野辺山駅からサイクルで30分、飯盛山の麓の平沢峠でのスケッチをもとに制作しました。中央に赤岳、左右に横岳、権限岳を一望出来る雄大な風景に魅了されました。

橘 良子

たちばな よしこ

ジャンル 版画



経歴

東京都品川区生まれ テキスタイルデザイナーを経て銅版画を始める

2002年～20019年	公募厚展
2003年、2005年、2006年	日本版画協会展
2004年	公募厚展神奈川新聞社賞受賞
2005年、2006年、2009年	FUKUI サムホール展奨励賞受賞
2005年～2019年	ミニプリントカダケス展（スペイン）
2005年、2008年、2011年、2014年、2017年	Small Graphic Forms Todz トリエンナーレ展（ポーランド）
2006年	清川泰治記念ギャラリー個展
2007年	第15回プリント21グランプリ展 横須賀市制100周年記念公募展「横須賀」版画部門
2008年、2009年、2011年	器ギャラリー陶里庵版画小品展個展
2010年	ギャラリーアニータ個展（座間市） FUKUI サムホール展優秀賞受賞
2010年、2012年	誠文堂ギャラリー個展（相模原）
2010年	公募厚展
2012年	第1回 FEI PRINT AWRD 展
2012年、2017年	ギャラリー檜個展 公募厚展お堀端画廊賞受賞
2013年	お堀端画廊個展 公募厚展奨励賞受賞
2014年	パーラストチャンス個展
2014年～2017年	セミナーヨ現代版画展
2015年	アワガミ国際ミニプリント展 ミニプリントカダケスファイナリストに選出 ロンドンアートフェア参加
2016年	誠文堂ギャラリー二人展 公募厚展委員推挙 ソウルアートフェア参加
2017年	ミラノ ブリュッセルアートフェア参加 公募厚展審査員 アルカディア版画展
2018年	ギャラリーヴェルジュ二人展
2019年	NBC シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ 公募厚展審査員

備考

2010年 芸術文化セミナー「ざまに生きる版画家たち」出品

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

L e f t A l o n e

作者名

橋 良子

ジャンル

版画

制作年

2019年

寸法（号数）

50号

テーマ

生命

作品について

作家は未来を予知するという。

タイトルは、アメリカの有名なジャズシンガー ビリー・ホリディが作詞、バックバンドのピアニストが作曲した名曲の題名です。

『ひとりぼっちで逝ってしまった』という意味です。

音が聞こえますかー？

手塚 精三

てづか せいぞう

ジャンル 洋画、水彩



経歴

元県美術協会会員 創元展入選、外遊6回、個展8回
流形美術会委員、大和美術協会名誉会員

備考

2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

大磯漁港

作者名

手塚 精三

ジャンル

油絵

制作年

2020年

寸法（号数）

110×146cm

テーマ

漁船と港について

作品について

大自然の荒波を乗り越えて、母港で一休みしている漁船の表情が人間と同様。
元気なとき、疲れているときの表情があり、自然の中に生きる詩情に惹かれて書いてみました。

中川 宇妻

なかがわ うつま
ジャンル 洋画



経歴

- 2008年 『世界アートアカデミー賞』
『日仏交流150周年記念芸術祭・OASIS International 2008 in Paris
サンミッシェル賞』
- 2009年 『地球環境芸術徳行功労賞』 ART MAISON JAPON IN Madrid Exhibition
スペイン・マドリード国際会議場（作品：生成の神秘シリーズ「浮遊」）
『日本・オーストリア外交140周年記念展・美術展 日欧芸術交流文化賞』
- 2010年 『日本・ポルトガル文化交流芸術大賞』
- 2011年 『和のノクターン：芸術平和賞』 ショパン生誕200周年記念展
- 2011年 『Heart Art in Tokyo 2011/第14回エイズ・チャリティ美術展/金賞』
- 2011年 『日本芸術協会展/最優秀賞』
- 2019年4月 ポーランド樹立100周年記念展＝優秀賞
- 2019年5月 モンゴルお酒ラベル採用＝優秀賞
- 2019年7月 エイズ・チャリティ展（兵庫県立美術館）＝優秀賞

備考

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
天理美術会委員、日本芸術協会理事
GALLERY NAKAGAWA 主催、ギャラリー・よんべと（佐渡）主催



タイトル

生成の神秘シリーズ～いだかれて～

作者名

中川 宇妻

ジャンル

洋画 油彩

制作年

2020年

寸法（号数）

P30

作品について

人類の生成過程ほど神秘的なものはない。

メインテーマを「生成の神秘シリーズ」として連作の間、親にいだかれて育つ。

濱 實

はま みのる

ジャンル 洋画（具象画）

経歴

北海道函館生まれ

16,7歳ころ、絵に関心を持ち始め、その後60年。現在に至る。

パリ留学（武蔵野の三雲先生の勧め） 2年あまり滞在し主にグラン・ショウミエールにて裸婦デッサンをやる。

幼少時の記憶か、海辺や魚などを対象に描くようになる。

出品

春陽会展、国際形象展、プラージュ展、カトレア展、神奈川春陽展

Tit展（ハーモニーホール座間）、濱實展

濱實・圭 二人展（ハーモニーホール座間）

春陽会会員・日本美術家連盟会員

備考

2011年～、2016～2017、2019年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

2018年 芸術文化セミナー「濱實美術展 心の風景を求めて」開催



タイトル

海岸風景

作者名

濱 實

寸法（号数）

F 6 0 号

作品について

取材は腰越漁港。

夜の港の静まりかえった美しさ…。

深谷 桂子

ふかや けいこ

ジャンル カリグラフィー

経歴

- 1992年 通信教育にてカリグラフィーを学び始める
- 1998年 カルチャーセンターに通い始める
- 2000年3月 日本カリグラフィースクール マイスターコース修了
- 2004年10月 ユザワヤ芸術学院カリグラフィーアート受講開始
- 2008年9月 ユザワヤ芸術学院 指導員養成講座修了
- 2009年5月 ユザワヤ芸術学院（大和校）講座講師

カリグラフィーネットワーク会員（元委員長）

カリグラフィーネットワーク作品展 出展

カリグラフィースクール作品展 出展

関連セミナー、ワークショップ、特別講座に多数参加

出張講習（体験・カードなど、継続・額装品、個人、団体）実施

現在は講師の傍ら日々書体、技法に工夫を凝らした作品作りに精進している

備考

2017年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

2021年 芸術文化セミナー「手書きアルファベットを楽しむカリグラフィー」展 開催

タイトル

共感できる言葉

作者名

深谷 桂子

ジャンル

カリグラフィーアート

制作年

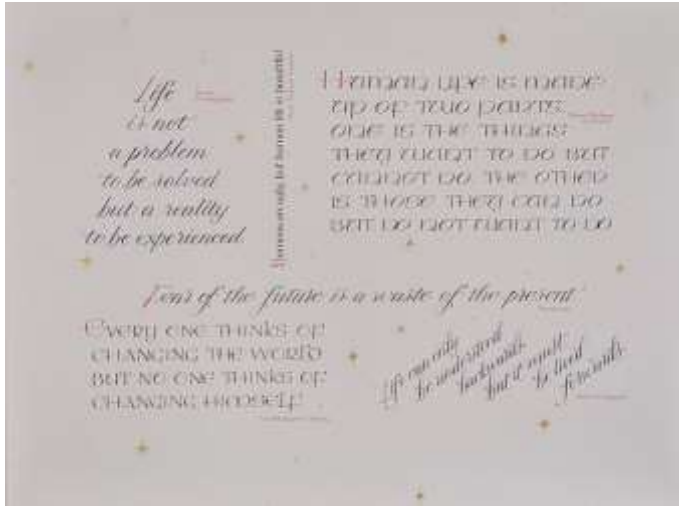
2019年

寸法（号数）

50×60cm

テーマ

共感出来る文章を集めてみました。



作品について

「そうなんだよねえ」と共感出来る6つの文を、細く尖ったペンで6種の書き方でそれぞれをひと塊にして配置しました。

文を探す事をはじめ、文字の大きさを変え、一定の形に収めてどうレイアウトするか等を考え抜いた作品になりました。

福田 知江

ふくだ ともえ

ジャンル 水彩画



経歴

神奈川県小田原市生まれ

女子美術大学芸術学部工芸科卒業

2006年～ 子育ての傍ら水彩画を描き始める。

2014年～ 絵画造形教室 *Agate blanche* (アガット・ブランシュ) を開く
(現在対象はお子様のみ)

2015年 RICOH Future House 「コサイエ」にてワークショップを開催

備考

2006年 個展「小さな花の絵展」よちよち屋 (相模原市南区)

2017年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

2021年 芸術文化セミナー「水彩画3人展～水彩画ができるまで～」



タイトル

奏 (かなで)

作者名

福田 知江

ジャンル

水彩画

制作年

2020年

寸法 (号数)

70×63cm F10号

テーマ

自由

作品について

作品を観る方が、平和で穏やかな気持ちで絵の前に佇んでくださるような作品を描きたいと、身近なものをモチーフに描いております。絵の中の白い花は椿です。「椿」という題名で我が子が作曲した曲があり、そこから着想を得ました。白い椿の花言葉は「完全なる美しさ」です。

穂積 千幸

ほづみ ちゆき

ジャンル 版画



経歴

千葉県生まれ

1984年 女子美術短期大学造形科生活デザイン卒業

1988年 ヘリット・リートフェルドアカデミー卒業

【主な展覧会】

- 1994年～2019年 国画会展 版画部出品（国画会版画部会員）
- 1995年～2004年 朝日チューリップ展入賞・入選（1999審査員賞）
- 1999年～2000年 日蘭交流400周年記念企画・鬱金香展 於：銀座／福岡
- 2003年、2006年 国際版画トリエンナーレ（Bitola マケドニア）
- 2004年 国際版画ビエンナーレ（Caixanova スペイン）
- 2005年 Atelier 1888 in Schijf（オランダ）
- 2005年～2020年 逡展（青山）
- 2006年～2008年 木を使ったリトグラフによる表現展（イタリア／東京）
- 2008年 女子美卒業生/同窓生による版画展（座間 ギャラリーアニータ）
- 2012年 日仏現代国際美術展 新作家賞
- 2013年 ベストセレクション美術（東京都美術館）出品
- 2018年 Mokurito ワークショップ and 個展（スウェーデン/リトグラフィー美術館）

【個展】

- 1996年・1997年・1999年・2001年・2003年・2007年（ギャラリーポート/銀座）
- 2003年・2005年・2008年（ギャラリー・スペース游/相模原）
- 2011年（ギャラリー和田/銀座）
- 2012年・2014年（ギャラリーアニータ/座間）

備考

- 2010年 芸術文化セミナー「ごまに生きる版画家たち」出品
- 2011年～2016、2019年、2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

チューリップいっぱい

(N邸ガーデン)

作者名

穂積 千幸

ジャンル

版画：木によるリトグラフ

(通称:木リト)

制作年

2020年

寸法 (号数)

80×55cm

作品について

2020年の春は、新型コロナウイルスの影響で海外はもちろん、国内も自由に出かけることができませんでした。その代わりに、住んでいる座間市内をゆっくり散策する時間かできました。

今回の作品は、近くのお宅の庭のチューリップをスケッチさせてもらい、版画制作しました。

松原 正俊

まつばら まさとし

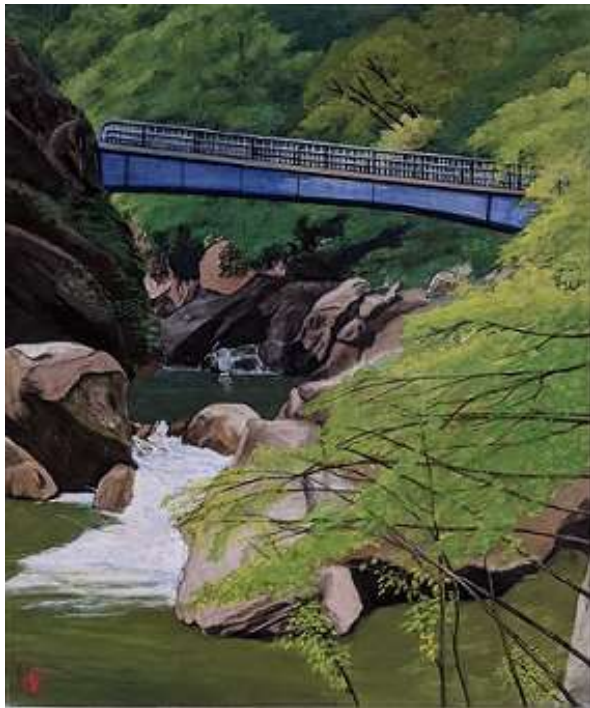
ジャンル 日本画

経歴

- 1940年 東京都目黒区大岡山に生まれる
- 1944年 戦争のため山梨県甲府市に疎開
- 1952年 「山梨県下合同学生展」で特選、知事より豆画伯の称号を受ける
- 1976年 座間市ひばりが丘に在住
- 2000年 定年退職を機に日本画を開始
- 2001年 林信夫、丸岡雄道先生にアドバイスレクチャーを受ける
- 2002年 「カルチャー全国合同展」初出展
- 2003年～ 第4回、第8回「日美展」日本画部門「佳作」受賞
- 2005年 「第10回日美展」日本画部門「秀作賞」受賞（国立新美術館）
- 2007年 大和市文化祭展絵画部門「議長賞」受賞
- 2010年 かながわシニア美術展「奨励賞」受賞、第39回近美春季展「奨励賞」受賞
第37回近美展入選（上野の森美術館）
- 2011年 第38回近美展入選（上野の森美術館）

備考

- 2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2019年 芸術文化セミナー松原正俊日本画展「日本画…！とは？」開催



タイトル

甲斐路の旅（昇仙峡）

作者名

松原 正俊

ジャンル

日本画

制作年

2020年

寸法（号数）

727×606cm 20号

テーマ

風景

作品について

数十年前、山梨の故里へ帰省したとき、昇仙峡まで足をのぼしスケッチをし、それを描いたものです。
（光を意識して描きました。）

松本 公夫

まつもと きみお

ジャンル 洋画

経歴

1981年 東京、川崎、横浜を経て1981年より座間市に在住

三菱石油川崎美術部で無羅多正健先生に師事（～1996年）

座間市絵画同好会「グループI」に1988年に入会、現在に至る

春陽会神奈川研究会展出品

春陽展（～第96回）2009年 初入選。2014年会友となり現在に至る

個展

1998年 厚木

2014年 ギャラリー「アニータ」

2018年 ハーモニーホールギャラリー

備考

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」展出品

2018年 芸術文化セミナー「松本公夫美術展 懐古の道を辿って」開催

座間市絵画同好会「グループI」会長 座間市美術サークル協議会会長



タイトル

缶群Ⅱ

作者名

松本 公夫

ジャンル

油彩

制作年

2019年

寸法 (号数)

162×130cm

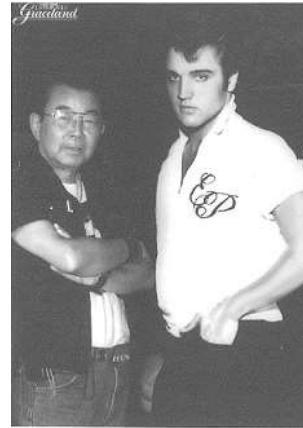
作品について

街の片隅、台風通過後の風景。
まだ、水害の跡が見られます。

宮本 和千代

みやもと かずちよ

ジャンル 洋画



経歴

- ・桐朋高校卒
- ・武蔵野美術大学卒
- ・スウェーデンでいくつかの学校卒業
- ・スウェーデン国籍、スウェーデンで教師ほか
- ・日本の教育、美術教師 公、私立中・高
- ・定年後カルチャー教室講師

備考

2013年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

それぞれの幸せさがし

作者名

宮本 和千代

ジャンル

アクリル画

制作年

2020年

寸法（号数）

75×93cm

テーマ

自由画

作品について

世界の子どもたちが、それぞれの形で幸福を求めている姿を表現してみた。

矢部 多恵子

やべ たえこ

ジャンル 洋画（油彩）

経歴

1940年生まれ

小学生の時から、絵を描くことが好きで油絵を描き、中学生で水彩、高校生で石膏デッサンをする。
武蔵野美術大学洋画科卒業。

2009年8月 第8回かながわシニア美術展 洋画の部奨励賞

備考

2017年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

如来坐像

作者名

矢部 多恵子

ジャンル

油彩

寸法 (号数)

F 3 0 号

作品について

新型コロナウイルス感染症の終息と平穩を願って。

山本 修子

やまもと しゅうこ

ジャンル 立体 帯アート



経歴

- 2002年 いけばな造形大学野外展（栃木）
2003年 同（厚木）、works 野外展（鎌倉）
2004、05年 works 野外展（滋賀、箱根）
2006年 アキバスクエア（秋葉原）「未来を見つめる展」
流形展（上野）
2007年 かねこファーム野外展（横浜） CAT 展（グリーンホール相模大野）
2008年 works 野外展（箱根） CAT 展（グリーンホール相模大野）
2009年 優美会展（銀座）
2010年 Bankart 展（横浜）
2011年 日仏文化交流展（パリ） 環太平洋展（東京）
2012年 ギャラリーしみず
2019年 新横浜プリンスホテルシンフォニーにて帯アート展示・講演
帯アート小田原清閑亭 IMANOMA 展
川口リリアホール帯アート展示・講演
2020年 熱海市有形文化財「起雲閣」
企画展示「煌～帯アート～次世代につなぐ結びのこころ」

- 個展 ギャラリー杜（2003年、2005年、2008年、2010年）
ギャラリーGK 銀座（2020年）

備考

- 2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
2017年 芸術文化セミナー「帯アート展～うつくしきもの～」開催
前座間華道協会会長



タイトル

眺望

作者名

山本 修子

ジャンル

帯アート

寸法 (号数)

80×90cm

作品について

日本の伝統文化といえる帯をデフォルメして、自然観の奥深さを感じ取って～。

横山 博昭

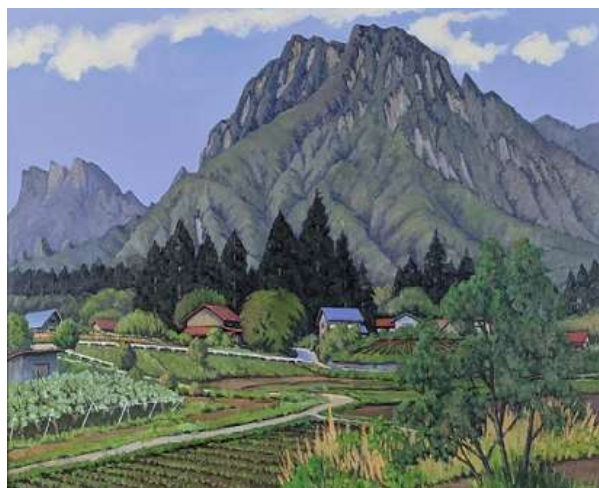
よこやま ひろあき

ジャンル 洋画

経歴

備考

2013年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

初夏妙義

作者名

横山 博昭

ジャンル

油絵

制作年

2011年

寸法 (号数)

90×78cm F20号

作品について

吉越 淳子

よしこし あつこ

ジャンル



経歴

横浜に生まれる 15歳より一水会委員泉治彦先生、一水会創立者の一人木下孝則先生に師事

1962年 一水会展 初入選 同展入選 (1963、64年 1990～2004年)

1996年 女流画家協会展 初入選 同展入選 (1997、98年)

1998年 北の大地ビエンナーレ展 入選

1999年、2000年 厚展 会友奨励賞

2004年 一水会会友推挙

2008年、2011年 現代パステル協会展 入選 2009年 同展 会友推挙

一水会会友、神奈川一水会同人、現代パステル協会会友

備考

2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

座間市に作品寄贈 (教育委員会室に展示)



タイトル

青のメロディー

作者名

吉越 淳子

ジャンル

洋画（写実）

制作年

2020年

寸法（号数）

73×60cm

テーマ

静物

作品について

いつも使用している物や身近にある物を組み合わせて作品にしてみました。

吉野 光治

よしの こうじ

ジャンル 洋画

経歴

- 1942年 神奈川県藤沢市に生れる
日大芸術学部卒 在学中より植村鷹千代の指導より、全神奈川アンデパンダ展
美術文化、新象展にアンフォルメルな作品を出品する
- 1962年 第12回藤沢市民展に出品 神奈川県知事賞受賞
- 1968年～1990年 三軌会に出品する
- 1972年 三軌会展 日本経済新聞社賞
- 1975年 坂崎乙郎の奨めで二紀会の研究会に通う。以後作風は具象に転向する。
- 1976年 造形展 佳作賞 三軌会運営委員・審査員を歴任
- 1996年 三軌会優秀賞
- 2005年 三軌会退会
- 現在 無所属

備考

2011年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

想う

作者名

吉野 光治

ジャンル

油彩

制作年

2020年

寸法 (号数)

120×95 cm

テーマ

夢想

作品について

依田 節子

よだ せつこ

ジャンル 洋画（油絵）

経歴

備考

2012年～2020年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品



タイトル

紺碧の大空

作者名

依田 節子

ジャンル

油絵

制作年

2020年

テーマ

**紺碧の空で仰ぐ太陽、広く輝く
座間の空**

作品について

毎週月曜日に通う芹沢公園から見る大山連峰の上空。
雲の流れと広大さに、日々、心洗われる思いです。

宇津木 游心（美津子）

うつき

ゆうしん

ジャンル

墨彩画（日本画）



経歴

- 1955年 横浜に生まれる
- 1959年～ 子供時代は書や絵に親しむ
- 1969年 青年時代は服飾デザイン、陶芸など造形活動に親しむ
- 2000年～ 汪天介先生、王孟江先生に本場の筆使いを習い、墨彩画を始める
東京芸術劇場、都美術館、町田市民ホール等で、主にグループ展に出品

備考

2014年～2019年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

清水 擴

しみず ひろし

ジャンル 陶芸



経歴

1945年 茨城県生まれ 東京工芸大学名誉教授・工学博士 専門は日本建築史の研究

2005年～ 陶芸家・蓮沼道子氏の指導を受ける 陶芸クラブ土有楽主宰

備考

2011年～2019年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品

『座間の古民家』執筆（1979年 座間市教育委員会）

『座間市史6－民俗編』分担執筆（1993年 座間市）

横井山 泰

よこいやま やすし
ジャンル 洋画



経歴

- 1976年 静岡県伊豆の国市生まれ
- 1995年 加藤学園高等学校卒業
- 2001年 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
- 2003年 同大学大学院美術研究科油画専攻修了
- 2003年 「TAMA・デ・アート」奨励賞受賞
- 2004年 「第7回岡本太郎記念現代芸術大賞展」特別賞受賞
- 2005年 「シェル美術賞2005展」本江邦夫審査員奨励賞受賞
- 2010年 文化庁新進芸術家海外研修員としてパリに滞在（～2011年）

パブリックコレクション 学校法人 加藤学園

主な個展

- 2004年、2005年、2009年、2010年、2012年、2013年 NICHE GALLERY（東京）
- 2004年、2006年 遊工房 ART SPACE（東京）
- 2005年、2006年 Gallery Unseal（東京）
- 2006年～2010年、2013年 ギャラリー新九郎（神奈川）
- 2014年 GALLERY エクリュの森、さんしんギャラリー善（静岡）

備考

- 2013年～2019年 芸術文化セミナー「座間・アートの今」出品
- 2018年 芸術文化セミナー「横井山泰 お面とどうぶつ」展 開催

「座間・アートの今 第10回記念作品集」

主催	座間市教育委員会
出品	座間市アーティストファイル登録者
会期	令和3年1月7日～9日
会場	ハーモニーホール座間（座間市立市民文化会館） 1階 ギャラリー
発行	令和3年3月
編集・発行	座間市教育委員会生涯学習課